

令和6年度 横浜市自転車等施策 検討協議会



令和7年3月24日



- 議事 1 横浜市自転車等施策検討協議会長の選出について
- 議事 2 横浜市シェアサイクル事業
事業評価部会の委員の選出について
- 議事 3 横浜市自転車活用推進計画
各施策の実施状況について
- 議事 4 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験事業
評価部会の開催状況について
- 議事 5 その他

1

横浜市自転車等施策検討 協議会長の選出

2

横浜市シェアサイクル事業 事業評価部会の委員の選出

シェアサイクル事業 事業評価部会の委員について

部会委員（案） （敬称略 五十音順）

氏 名	職 名
岡村 敏之 （部会長）	東洋大学国際学部国際地域学科 教授
加 茂 隆 子	株式会社日本経済研究所 公共デザイン本部 PPP推進部長
後藤 智香子	東京都市大学環境学部 准教授
小 嶋 文	埼玉大学大学院理工学研究科 准教授

3

横浜市自転車活用推進計画 各施策の実施状況について

■方針

■具体の取組

方針 1

**交通ルールを
学べる環境を
つくる**

(1) 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

(2) 教育・啓発・指導ができる体制づくり

方針 2

**安全・安心に
自転車を利用
できる環境を
つくる**

(1) 自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発

(2) 自転車保険の加入促進

(3) 安全に乗るための点検・整備方法の周知啓発

課題

○自転車乗車時のヘルメットの着用率向上に向けた取組み

	神奈川県	東京都	埼玉県	千葉県	全国平均
令和5年	8.4%(27位)	10.5%	6.1%	6.4%	13.5%
令和6年	8.9%(41位)	15.1%	9.2%	6.5%	17.0%

※啓発・教育等を実施しているが、着用率が低調な状況

	1位	2位	3位
R5	愛媛59.9%	大分46.3%	群馬43.8%
R6	愛媛69.3%	大分48.3%	群馬40.4%

＜警察庁調査 R5.7月3日～21日、R6.7月1日～19日＞

参考

○令和6年5月に改正された道路交通法

【令和6年11月施行】

- ・携帯電話使用等の罰則強化
- ・酒気帯び運転及び同乗者の罰則強化

【令和8年5月までに施行】

- ・自転車等の交通反則通告制度の適用
- ・車が自転車等を追い抜く際の安全速度での進行
自転車等は道路の左側端を通行

切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

幼
児

■ 幼児交通安全訪問指導

- ・市内幼稚園・保育所等で幼児を対象にパペット指導や就学前指導を実施
- ・**自転車乗車時のヘルメット着用等**について周知
- ・R6年度実績:257園(1月末時点)
- ・R7年度予定:300園程度



小
学
生

■ はまっ子交通あんぜん教室

- ・市内小学校で**小学3～6年生を対象**に、警察署や交通安全協会、区役所が連携し 自転車の点検・整備、正しい乗り方、交通ルール、**ヘルメット着用の有効性**等を指導
- ・R6年度実績:284回、参加者 24,278名
- ・R7年度予定:282回



■ 放課後キッズクラブ交通安全教室

- ・市内放課後キッズクラブで**小学生を対象**に自転車乗車時の基本的な交通ルールや「こども・安全安心マップ」を使用した安全教室を実施
- ・R6年度実績:**交通安全推進校5校を含む20校の放課後キッズクラブ**
参加者603名(1月時点)
- ・R7年度予定:**交通安全推進校9校を含む25校の放課後キッズクラブ**



切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

中学生・高校生

■ 中学生・高校生向け自転車交通安全教室

市内中学校・高校等で**中学生・高校生を対象**に、自転車の交通ルール・マナーを学ぶ交通安全教育を座学講義形式で実施。

【指導内容】

自転車の通行場所、年齢によって適用される自転車ルール、自転車保険の加入の必要性、**自転車ヘルメット着用努力義務化、電動キックボードの安全利用**...など

- ・R6年度実績:20回、参加者4,740名
- ・R7年度予定:20回



■ スケアード・ストレイト方式自転車交通安全教室

市内で**中学生や高校生などを対象**にスタントマンによる**自転車事故再現等**を実施

- ・R6年度実績:10回(1月末時点)
- ・R7年度予定:11回

保護者

■ 幼児保護者向け交通安全教室

市内幼稚園・保育所等で**幼児保護者を対象**に交通安全教室を実施

【講義内容】

道路交通法、標識、ヘルメット非着用時の衝撃実験結果等について

- ・R6年度実績:23回(3月末までの申込済分)
- ・R7年度予定:申し込み園を対象



教育の場で活用できる啓発ツールの配布教育・家庭の場での教育、SNSを活用した啓発

○幼児向け

幼児向け交通安全教育動画



家庭でも、気軽に交通安全のルールを学べるよう動画を作成。YouTubeで公開しています！

○児童向け

児童向け交通安全教育動画



学校や家庭での、自転車の走り方や標識のルールなどを学べるように小学生向け交通安全動画（全10本）を作成しました。YouTubeでも公開しています！



ルールブック作成
※外国人向けも作成

○中学生・高校生向け

ルールブックやチラシを作成



○保護者向け

リーフレット



子乗せ自転車啓発動画



自転車用ヘルメット着用率向上に向けて

■自転車用ヘルメット着用啓発チラシをリニューアル

令和6年度から自転車用ヘルメット着用啓発チラシのデザインをリニューアルしました。

道路交通法で、自転車に乗るすべての人のヘルメット着用が努力義務となったことから、幅広い年代に受け入れられやすいデザインとしています。

■鉄道駅やWEB広告を活用した広報の実施

自転車用ヘルメット着用促進に向けて、鉄道駅など利用者の多い場所を中心に、効果的な広報を実施しました。

実施場所	実施数	期間
自転車駐車場	約100か所	通年
市内鉄道駅	市内50駅 (市営地下鉄、みなとみらい線、シーサイドライン)	令和6年12月9日～23日
WEB広告 (Google、Yahoo媒体)	閲覧数：約300万PV クリック数：約1万回	令和6年12月9日～23日

自転車に乗るみなさまへ

！ 自転車に乗るときは
ヘルメットをかぶりましょう！

令和5年4月から全ての自転車利用者の
乗車用ヘルメット着用が
努力義務となっています。

知っていますか？

自転車事故で亡くなった方の
約6割が
頭部に致命傷を負っています。

自転車乗車中死者の人身損傷部位別
(平成30～令和4年12月)

頭部 60%

自転車事故でヘルメットを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて**約2倍**です。

自転車乗車中のヘルメット着用状況別の致死率
(平成30～令和4年12月)

着用 0.27%
未着用 0.58%

大切な命を守るため、自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう！

横浜市道路局 道路政策推進課 TEL:045-671-2323 (平日 8:45～17:15)

新デザインの啓発チラシ

教育・啓発・指導ができる体制づくり

自転車用ヘルメット着用率向上に向けて・民間企業との連携

■ワールドトライアスロン2024横浜大会への交通安全ブース出展 株式会社オージーケーカブトと連携した自転車用ヘルメット着用体験

<日時>

令和6年5月11日（土）10時～15時

<内容>

ワールドトライアスロン2024横浜大会の会場一部（赤レンガ倉庫）にて、交通安全ブースを出展し、株式会社オージーケーカブトからサイズやデザインの異なる19種類のヘルメット貸出提供を受けて自転車用ヘルメット着用体験コーナーを実施しました。

また、ブース内で交通安全クイズや反射材の配布、自転車用ヘルメットの着用啓発や自転車保険の加入促進啓発を実施したほか、同大会内で行われた交通安全パレードにて「思いやりSHARE THE ROAD運動」の周知啓発を実施しました。



自転車用ヘルメット着用体験



交通安全パレードでの周知啓発

自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発

思いやりSHARE THE ROAD運動の啓発・民間企業との連携

■ SHARE THE ROADステッカーを貼った車両が増えました

市内交通事業者の協力を受け、市内を営業するバスやタクシー等約2,500台にステッカーを貼付し、SHARE THE ROAD運動を啓発します。

事業者	配布数	事業者	配布数	事業者	配布数
京浜急行バス株式会社	150枚	神奈川中央交通株式会社	570枚	株式会社フジエクスプレス	5枚
江ノ島電鉄株式会社	50枚	東急バス株式会社	330枚	大新東株式会社	20枚
川崎鶴見臨港バス株式会社	110枚	相鉄バス株式会社	230枚	神奈川県タクシー協会 横浜支部	1,000枚

■ SHARE THE ROAD啓発デザインをリニューアルします

思いやりSHARE THE ROAD運動の啓発デザインを、令和6年5月に改正された道路交通法の施行にむけて、誰にでも分かりやすいデザインにリニューアルします。
令和7年度以降、新デザインを使用して啓発活動を行います。



自転車保険の加入促進

自転車保険の広報啓発、加入状況調査

■ 令和6年度自転車保険の加入状況

ヨコハマEアンケートのメンバーを対象に、自転車保険の加入状況についてアンケート調査を実施しました。

＜対象＞ ヨコハマEアンケートメンバー 4,747人

＜回答＞ 1,230人（回答率：25.9%） うち自転車利用者467人

＜期間＞ 令和6年11月8日（金）から11月18日（月）

	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
自転車保険加入率	69.2%	68.4%	77.7%	78.5%	83.9%	85%

■ 自転車保険の広報啓発

自転車保険の加入促進に向けて、鉄道駅など利用者の多い場所を中心に、効果的な広報を実施しました。

実施場所	実施数	期間
市営地下鉄	ブルーライン31駅	令和6年12月9日～23日
WEB広告 (Google媒体)	閲覧数：約30万PV クリック数：約2千回	令和6年12月9日～23日



■方針

■具体の取組

方針 1

地域の自転車
ネットワークを
つくる

(1) 重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

(2) 都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

方針 2

地域をつなぐ
広域ネットワーク
をつくる

広域的な自転車ネットワークの形成

方針 3

安全で快適な
自転車通行環境を
つくる

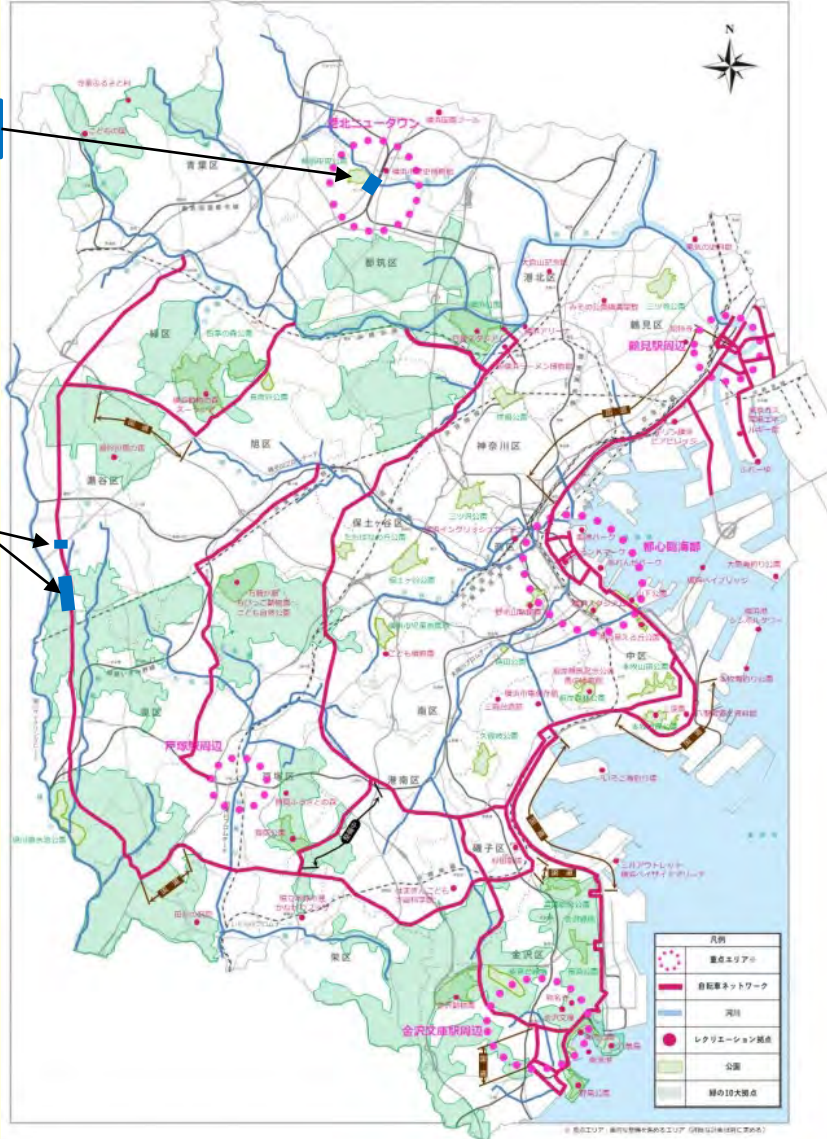
自転車通行環境の快適性向上

自転車通行空間の整備状況

令和6年度の事業箇所

中山北山田線

環状4号線



自転車通行空間の整備状況

- 令和6年度は下記工事を実施

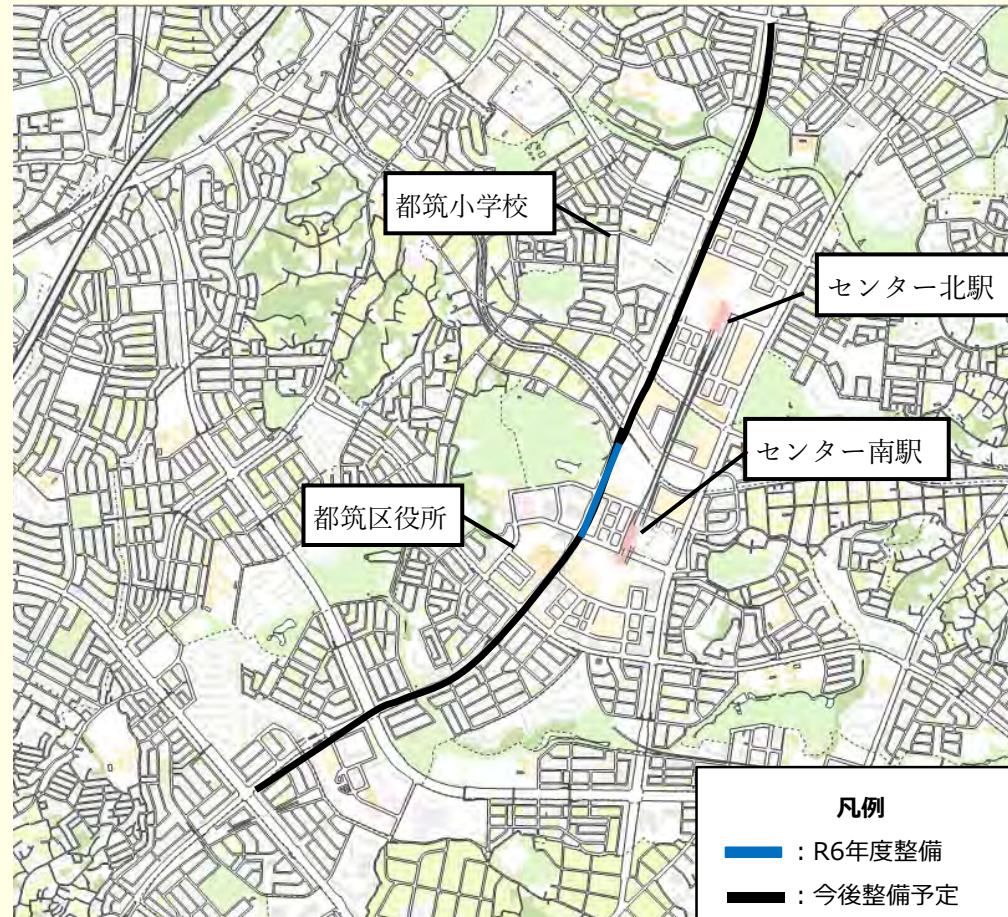
工事

路線名・地区名	延べ延長	整備形態
中山北山田線 (港北ニュータウン)	約 700m	矢羽根型路面表示
環状4号線 (下瀬谷地区)	約 2,000m	自転車専用通行帯 矢羽根型路面表示
計	約 2,700m	

自転車ネットワークでの自転車通行空間の整備推進

■ 中山北山田線 自転車通行空間整備

令和6年度は、「都筑区役所・警察署」交差点から北側を整備。

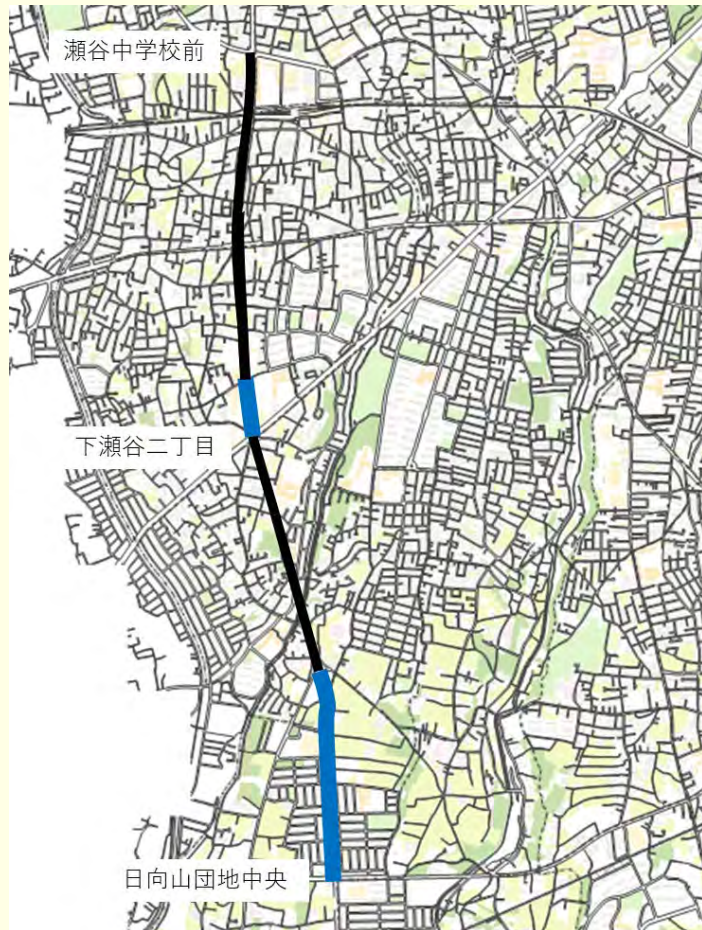


R6整備箇所

自転車ネットワークでの自転車通行空間の整備推進

■ 環状4号線 自転車通行空間整備

令和6年度は、「日向山団地中央」から「下瀬谷坂上」の
交差点間及び「下瀬谷二丁目」交差点から北側を整備。



凡例

- : R6年度整備
- : 今後整備予定



R6整備箇所

自転車通行空間の整備状況

令和7年度の事業予定箇所



工 事

自転車通行空間の整備について

- 令和 7 年度は下記の工事を実施予定

地区・路線名		整備形態	延べ延長
重点エリア	港北ニュータウン	矢羽根型路面表示	約 2,400m
	戸塚駅周辺	矢羽根型路面表示	約 1,100m
	都心臨海部、金沢文庫駅周辺	矢羽根型路面表示	約 800m
N W 路線	環状 4 号線（瀬谷区）	自転車専用通行帯 矢羽根型路面表示	約 900m
	中田さちが丘線（泉区）	自転車専用通行帯 矢羽根型路面表示	約 400m
		計	約 5,600m

■方針

■具体の取組

方針 1

目的に応じた
駐輪場の「量」
を確保する

(1) 買い物等の集客施設での利用に応じた駐輪場の確保

(2) 鉄道利用等に対応した駐輪場の拡充

方針 2

サービスの
「質」を高める

(1) 市営自転車駐車場のサービス向上

(2) 持続可能な市営駐輪事業のしくみ構築

方針 3

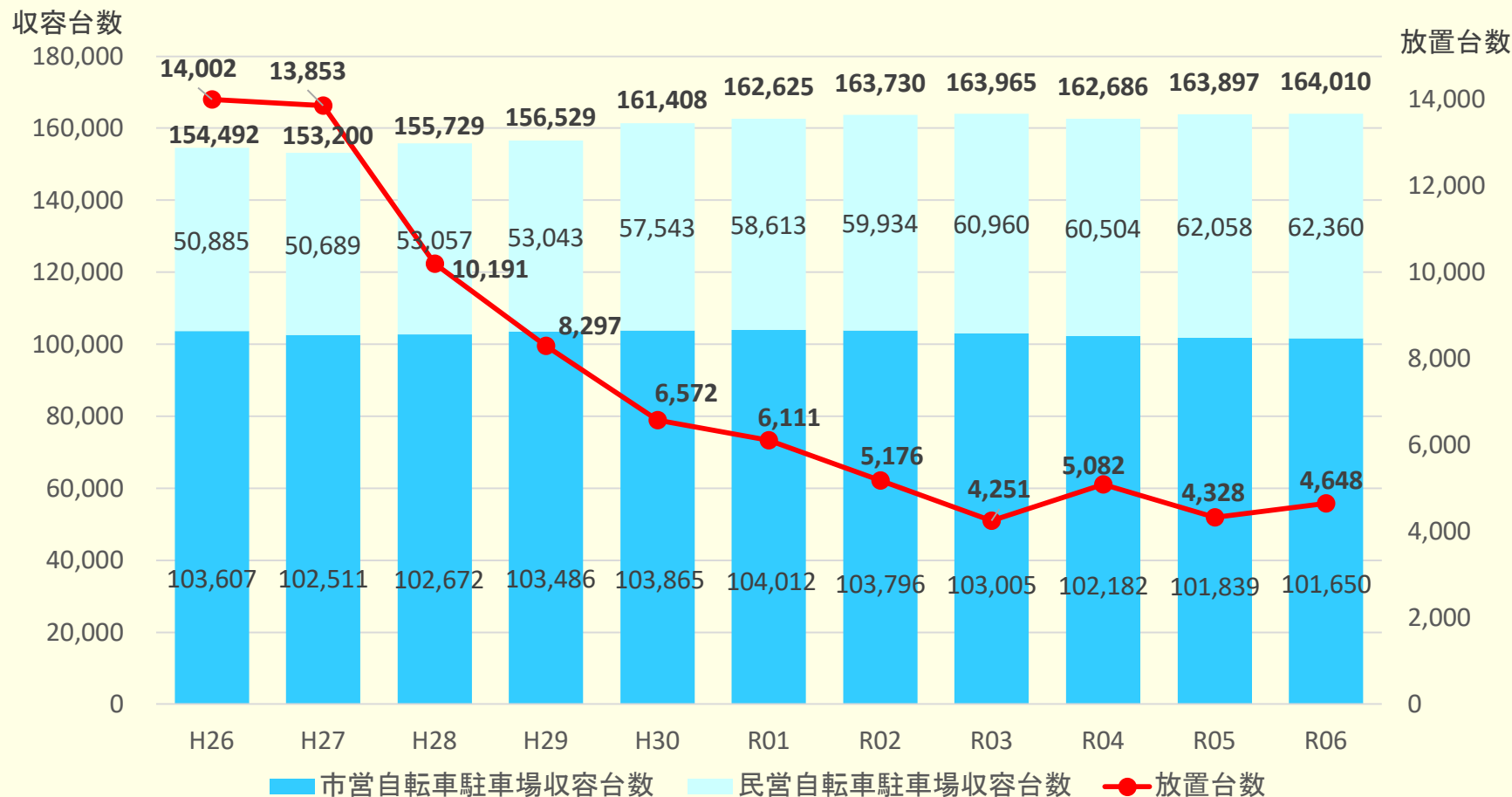
まちに適した
駐輪対策を進める

地域、民間、行政の連携による駐輪対策の実施

駐輪場収容台数及び放置自転車台数の推移

- 自転車駐車場の収容台数は、約165,000台程度で推移
- 放置自転車台数は、10年で約3分の1まで減少も、最近は、ほぼ横ばい傾向

※市営自転車駐車場は無料箇所を含む



駐輪場の附置義務制度の運用状況

- **自転車駐車場の附置**を義務付ける条例の義務規定を適用した運用を、令和元年度から開始
- 該当する施設の新築・増築の機会を捉えて、附置義務による自転車駐車場の整備を促進

自転車駐車場附置義務条例 適合確認件数等（R6年4月～R7年2月末時点）

	件数	附置台数	設置台数
集客施設	30 件	756 台	989 台
共同住宅等	327 件	7,285 台	9,155 台
複合施設※	3 件	186 台	257 台
合計	360 件	8,227 台	10,401 台

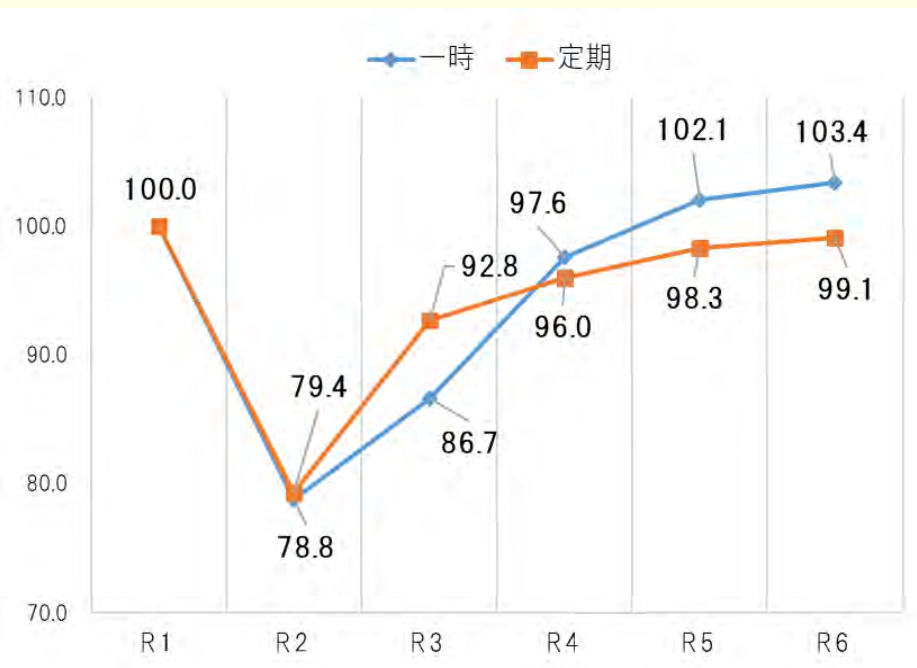
※ 1つの施設内に集客施設と共同住宅等が両方含まれるもの

地域の実態に即した駐輪場の量の確保

- 市営自転車駐車場内における、バイク区画から自転車区画への転換による、自転車の収容台数の確保
※令和6年度は、約30か所で実施

【参考：市営自転車駐車場の利用状況】

＜自転車＞



＜バイク＞



※ R1年度（新型コロナウイルス感染症の影響が出る前）を100とした場合の、R2年度～R6年度の利用状況の推移。
なお、R6年度は、4月～10月までの上半期の累計値。

地域の実態に即した駐輪場の量の確保

- 旧管理室の撤去及び駐輪スペース化による、収容台数の確保

※令和6年度は、駐輪需要が収容台数を大幅に上回っていた阪東橋駅、杉田駅等で実施

【阪東橋自転車駐車場】

before



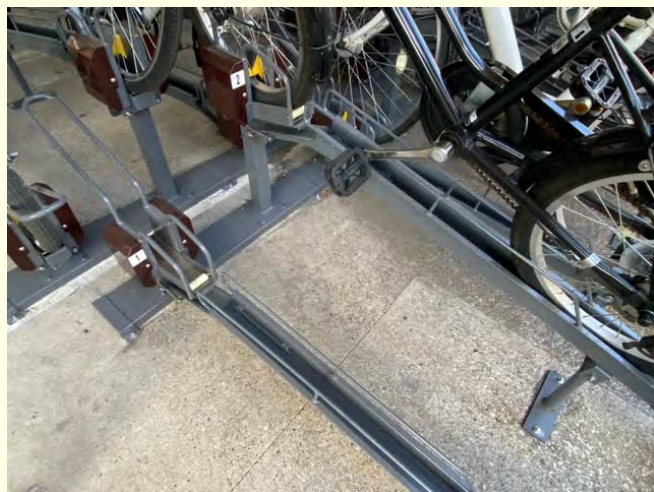
after



現在は使われていない管理室を撤去し、駐輪スペースへ転換することで、自転車一時の収容台数が40台から64台に増加。需要と供給のバランスがとれたことで、放置自転車軽減につながった。

地域の実態に即した駐輪場の量の確保

【参考：阪東橋自転車駐車場では、あわせて電磁ロック式ラックと満・空表示灯を設置】



収容台数拡大にあわせて、電磁ロック式ラックを導入することで、整理整頓された自転車駐車場へ改善させるとともに、道路側への「満・空表示」を実施するなどサービスも向上。

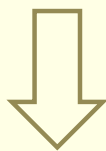
● 駐輪課題が特に大きいエリアの駐輪スペース確保について

- ・ 民営補助制度の活用等を通じて、民設民営方式での整備を促進させていきます。
- ・ 市営の新設、拡張については、用地確保等の課題から困難なケースが多いですが、人口急増などの理由により特に駐輪需要がひっ迫しているエリアについては、駅から離れた土地や狭小地であっても自転車駐車場としての利用を検討していきます。

市営自転車駐車場のキャッシュレス決済について

- 6年度に、市営自転車駐車場における全面的な交通系IC支払いへの対応を実施

これまでは、239施設中、約100施設の
一時利用の券売機のみ、交通系IC支払い対応



6年度に、239施設中、223施設の
定期利用の更新機、一時利用の券売機の両方で
交通系IC支払い対応が完了



利用者からの要望も多かったキャッシュレス対応を推進し、サービス向上を図りました。
なお、機器更新や部品調達の都合で未対応の16施設についても、順次導入を進めていきます。

持続可能な市営自転車駐車場運営・放置対策に向けた取組

持続可能な運営にむけて、長期的な視点で、歳出抑制策及び歳入確保策の検討を加速させていきます

■歳出抑制策

自転車駐車場の
管理・運営

市営自転車駐車場の運営コスト削減策の検討

撤去自転車保管場所の統合、移動作業の効率化の検討

■持続可能な歳入確保策

自転車駐車場の
保全・修繕

持続可能な料金体系の検討

理想的な運営形態の検討

放置自転車の
撤去・保管

市営自転車駐車場内の余剰スペース有効活用の検討

■方針

■具体の取組

方針 1

健康的な
「ライフスタイル」
にいかす

(1) 自転車を活かした健康づくりの支援

(2) サイクルスポートへの興味を高める取組推進

方針 2

横浜らしい
「まちづくり」
にいかす

(1) 観光や賑わいのあるまちづくりでの自転車活用の推進

(2) まちづくりと連携した自転車活用の推進

●イベント概要：

- ・青葉区内の公園や史跡など、15か所のポイントを徒歩や自転車、バス、電車など、CO2排出量の少ない方法で巡ってスタンプを集める、デジタルスタンプラリー。
- ・スマートフォンがあれば、だれでもどこからでも参加でき、スタンプ数に応じて、地元の特産品などの景品に応募可能。

●開催期間：令和6年9月14日～11月24日

●事業所管課：青葉区役所区政推進課



- ・スタンプ箇所に応じて、楽しく周れるモデルコースを作成。
- ・スタンプポイント間の移動には、シェアサイクルなどのおすすめの移動方法をご案内。
- ・マップにはシェアサイクルポートや地産地消店舗を掲載して紹介。

モデルコース	
ホケ尾自転車コース	市が尾駅 → ①市ケ尾町29-10地先、青葉区役所 → ②市ケ尾横穴古墳群 → ③上谷本の畑 → ④寺家ふるさと村 (⑤四季の家) → シェアサイクル サイクルステーション
大山街道コース	⑥真福寺 → 江田駅 → ⑦市ケ尾横穴古墳群 → ⑧もえぎ野ふれあいの樹林 → ⑨藤が丘公園
奈良川自転車コース	⑩こどもの国 → ⑪こどもの国駅自転車駐車場 → ⑫住吉神社の社叢林 → ⑬田奈恵みの里 → ⑭東急ストア田奈店 → 田奈駅
【牛込の獅子舞】10月12日(土) ⑮神明社 育宮祭 / 10月13日(日) ⑯鷲神社 例大祭	



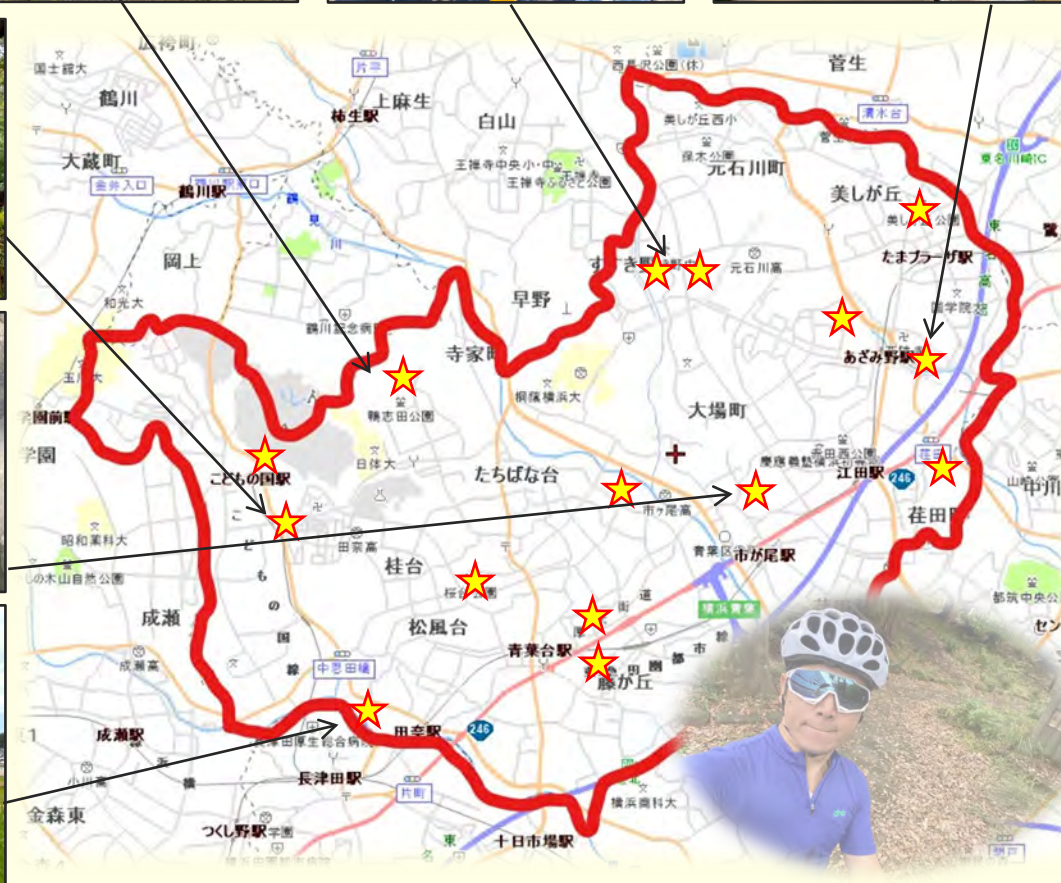
スタンプポイント一覧

(参加の様子)

R7年度は、より自転車やシェアサイクルを
活かしたイベントを検討中



- ① 桜台公園
- ② 藤が丘公園
- ③ もえぎ野ふれあいの樹林
- ④ 田奈恵みの里
- ⑤ 住吉神社の社そう林
- ⑥ こどもの国
- ⑦ 寺家ふるさと村
- ⑧ 嶮山公園
- ⑨ 荇子田太陽公園
- ⑩ 神明社
- ⑪ 美しが丘公園
- ⑫ 驚神社
- ⑬ 真福寺
- ⑭ 市ヶ尾横穴古墳群
- ⑮ 上谷本の畑



金沢区でサイクルツーリズム～横浜金沢の街を自転車でめぐろう～

●イベント概要：

位置情報型音声ガイド・情報サービス「GURURI」を活用し、サイクルツーリズム向けのおすすめコースを設定。スマートフォンで、コース上の各スポットを地図で確認したり、各スポットの音声案内を聞くことができ、歴史、自然、ショッピング等の魅力が満載である金沢区を自転車で巡って楽しむことができる。

●事業所管課：金沢区役所地域振興課



【GURURI画面イメージ】



●コース概要

①歴史の道コース

金沢文庫駅東口→称名寺→神奈川県立金沢文庫→薬王寺→伝心寺→龍華寺→明治憲法草創の碑→琵琶島神社→瀬戸神社
他に、②お買い物と海を楽しむコース

③シーサイドコース

④富岡の緑を感じるコース、

⑤釜利谷歴史散策コース

があり、全5コース。

7年度は、新たなコースの設定や、GURURI内の地図上にシェアサイクルのポート情報を掲載するなど、より楽しみやすいコンテンツとなるよう取組を進めていく予定。

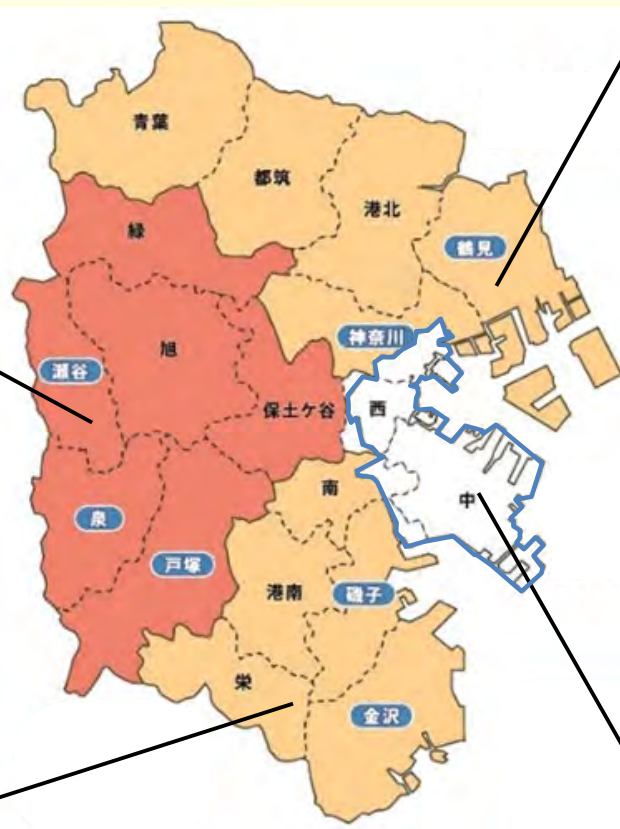
横浜市全体のシェアサイクルの取組状況

広域シェアサイクル社会実験 (中部区域)

サービス：baybike（広域）
協働事業者：(株)ドットエフ・バイクシニア
社会実験：R4.6～R7.3

広域シェアサイクル社会実験 (北部区域)

サービス：HELLO CYCLING
協働事業者：OpenStreet(株)
(他連携事業者4社)
社会実験：R4.6～R7.3



広域シェアサイクル社会実験 (南部区域)

サービス：HELLO CYCLING
協働事業者：OpenStreet(株)
(他連携事業者4社)
社会実験：R4.6～R7.3

都心部コミュニティ サイクル事業

サービス：baybike
協働事業者：(株)ドットエフ・バイクシニア
社会実験：H23.4～25.3
本格実施：H26.4～R7.3*

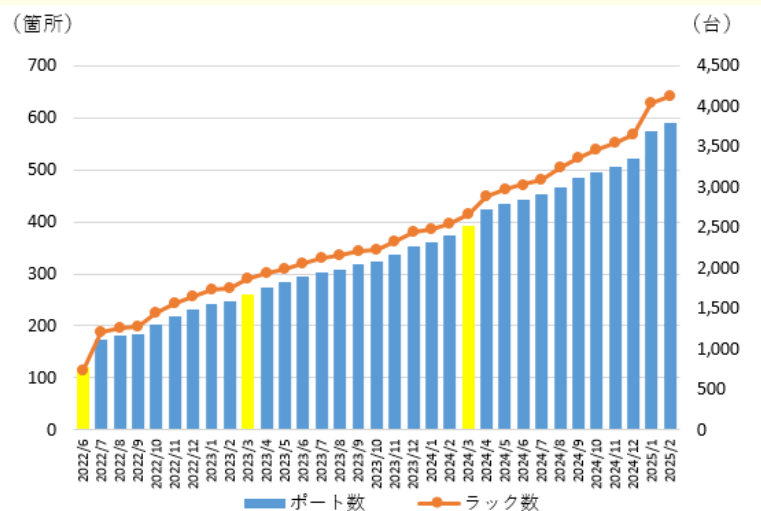
*R6.3からR7.3に延長

横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

● 現在の事業の進捗状況（広域全体）

※実施期間中最大値

	ポート数	ラック数	利用回数/月	利用者数/月
R4.6	122箇所	738台	21,500回	7,400人
R5.3	262箇所	1,867台	33,700回	11,500人
R6.3	392箇所	2,475台	※61,600回	※19,600人
R7.2	590箇所	4,126台	※101,700回	※31,100人

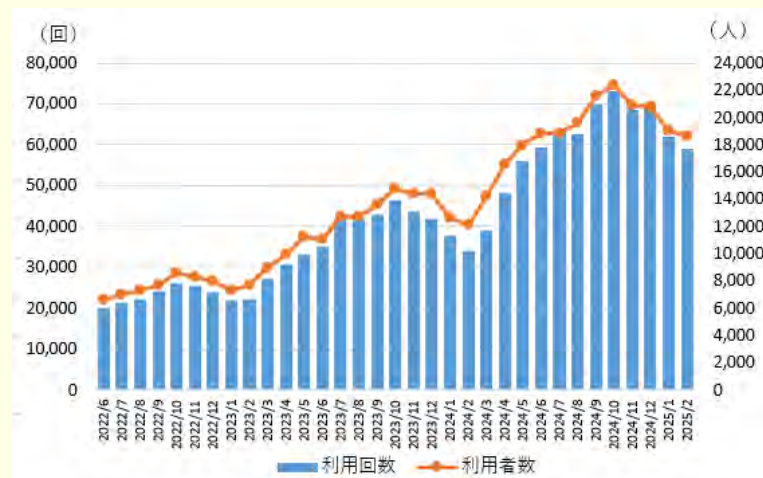
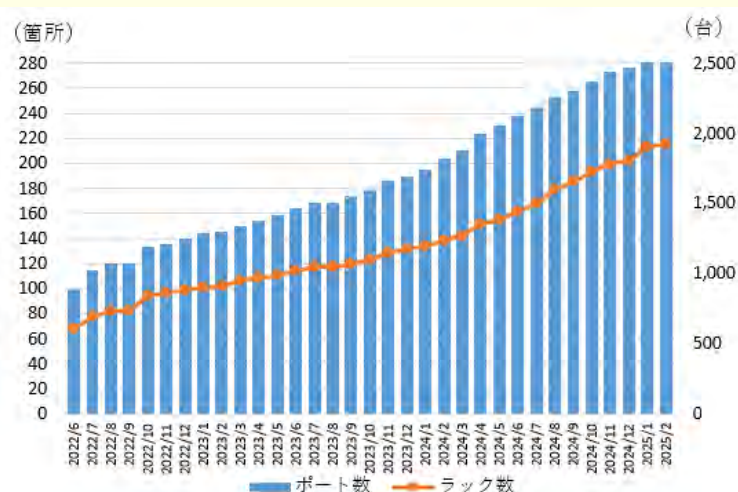


横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

● 現在の事業の進捗状況（北部区域）

※実施期間中最大値

	ポート数	ラック数	利用回数/月	利用者数/月 (アクティブ)
R4.6	99箇所	607台	19,900回	6,600人
R5.3	150箇所	951台	27,100回	9,000人
R6.3	210箇所	1,270台	※46,600回	※14,800人
R7.2	293箇所	1,925台	※73,200回	※22,400人

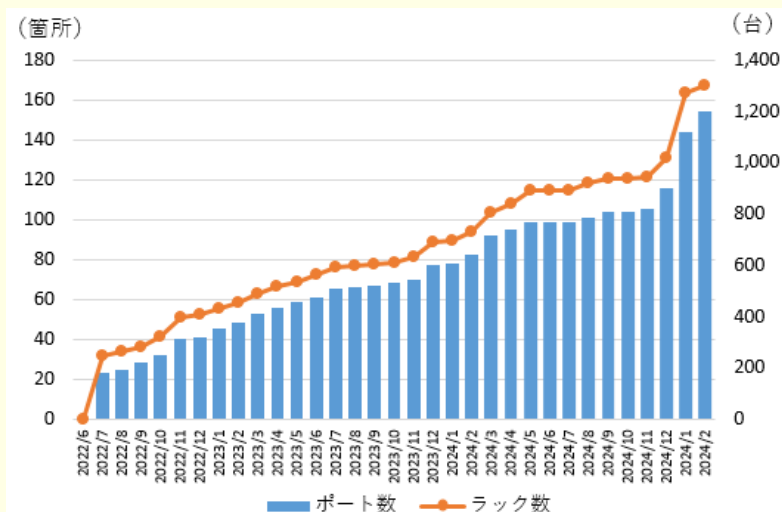


横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

● 現在の事業の進捗状況（中部区域）

※実施期間中最大値

	ポート数	ラック数	利用回数/月	利用者数/月 (アクティブ)
R4.6	0箇所	0台	0回	0人
R5.3	53箇所	489台	3,600回	1,100人
R6.3	92箇所	806台	※8,900回	※2,300人
R7.2	154箇所	1,297台	※14,900回	※3,800人

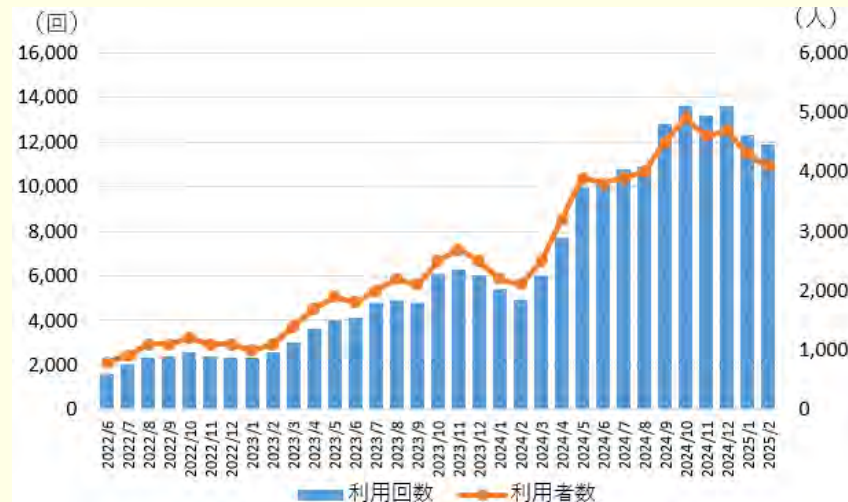
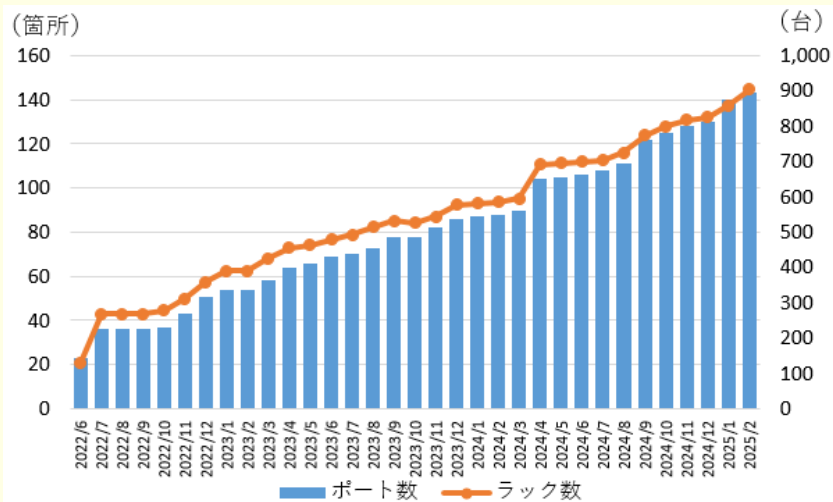


横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

● 現在の事業の進捗状況（南部区域）

※実施期間中最大値

	ポート数	ラック数	利用回数/月	利用者数/月 (アクティブ)
R4.6	23箇所	131台	1,600回	800人
R5.3	58箇所	427台	3,000回	1,400人
R6.3	90箇所	596台	※6,300回	※2,700人
R7.2	143箇所	904台	※13,600回	※4,900人

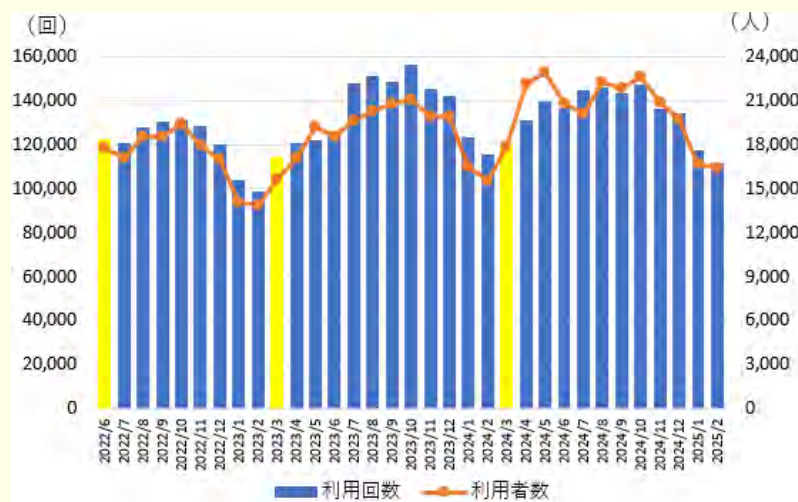
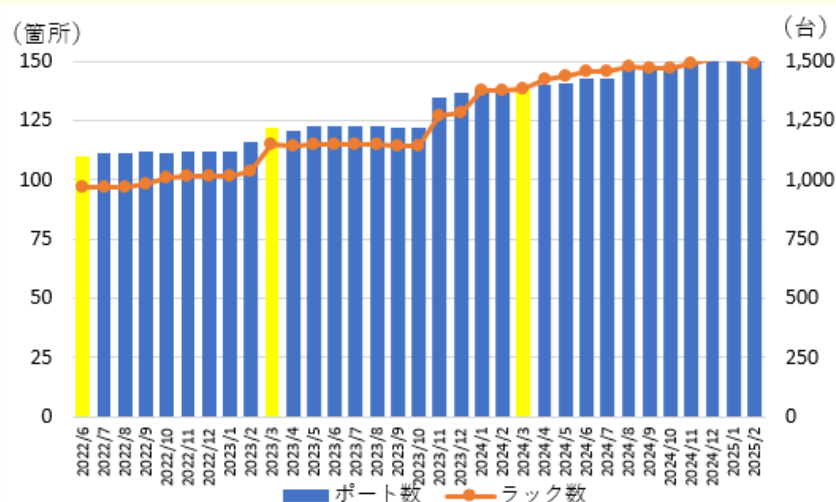


横浜都心部コミュニティサイクル事業の取組状況

● 現在の事業の進捗状況（都心部区域）

※実施期間中最大値

	ポート数	ラック数	利用回数/月	利用者数/月 (アクティブ)
R4.6	110箇所	967台	122,500回	17,800人
R5.3	122箇所	1,152台	114,200回	15,600人
R6.3	138箇所	1,382台	※156,500回	※21,100人
R7.2	150箇所	1,495台	※147,100回	※22,900人

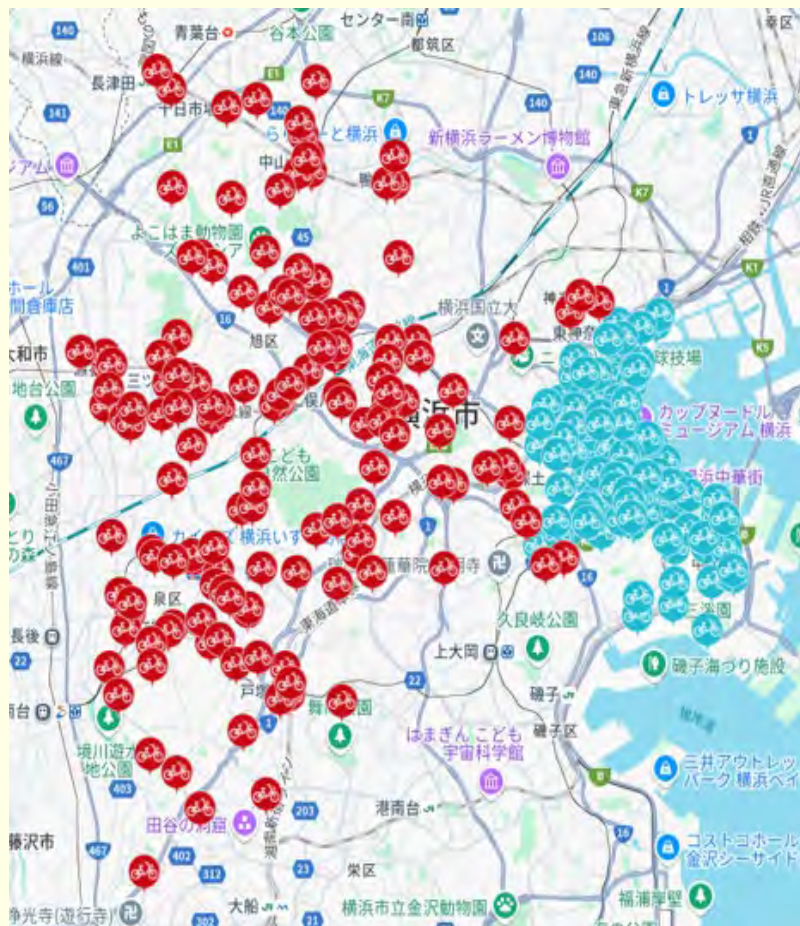


いかす

横浜市内のシェアサイクルポート設置状況

赤：baybike(広域)、水色：baybike

HELLO CYCLING

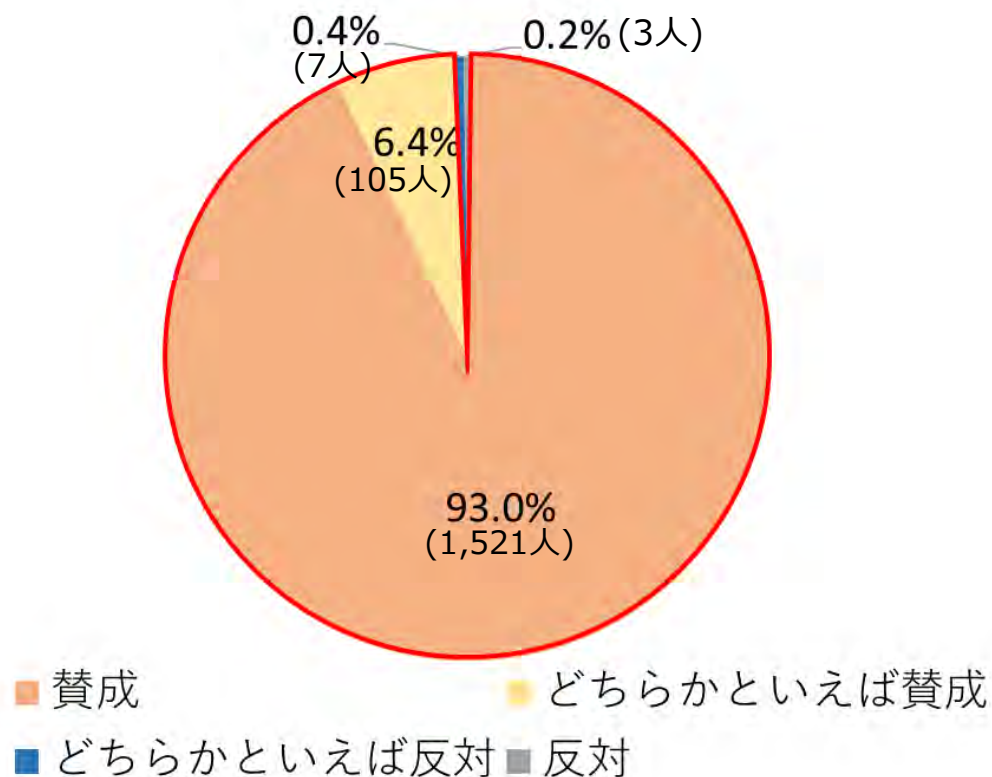


シェアサイクル事業の今後の取組の方向性

● シェアサイクル事業の継続について

「賛成」、
「どちらかといえば賛成」を
合計すると**99.4%**となっている

設問：本事業の継続について、どのように考えますか？



調査時期：令和7年2月7日～2月21日（有効回答者数：1,636人）

調査手法：アプリ上のプッシュ配信により、利用者アンケートを実施

横浜市内のシェアサイクルポート設置状況

種別		R7年2月末時点 設置数					
		市内全域	広域事業(社会実験)				都心部事業
			広域全体				
				北部区域	中部区域	南部区域	
公有地	庁舎等施設	46	34	13	13	8	12
	道路	112	101	24	50	27	11
	公園	55	35	11	9	15	20
	駐輪場	77	65	27	22	16	12
	港湾	5	1	0	0	1	4
	その他	26	26	8	14	4	0
	小計	321	262	83	108	71	59
民有地		419	328	210	46	72	91
合計		740	590	293	154	143	150

利用者移動データの公開

利用者移動データの公開 (令和6年6月～)

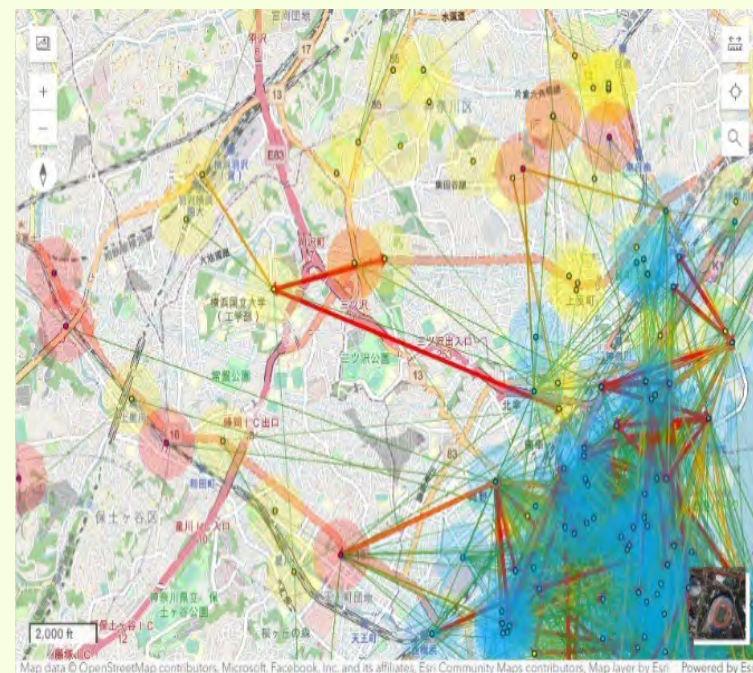
本市におけるシェアサイクル事業の移動データを可視化したものを令和6年6月に全国の自治体で初めて WebGIS上で一般公開しました。

これによりポート設置を検討する民間企業等の社内意思決定を支援することで、民有地ポートの設置を促します。また、自転車通行空間の整備に活用することで利用環境の改善が期待できます。

(公開先URL)

<https://yokohama-bicycle.maps.arcgis.com/apps/instant/sidebar/index.html?appid=27ac7d84c5974def9d98bfe8f7f5e228>

本サービスは横浜市がサービス利用契約しており、ドメインは本市のものとは異なりarcgis.comです。
(横浜市インターネット受発信ガイドライン第6条第4項により協議済)



○ シェアサイクルポート
 → 移動量 (31～50回/月)
 → 移動量 (51回～/月)
 → 移動量 (11～30回/月)

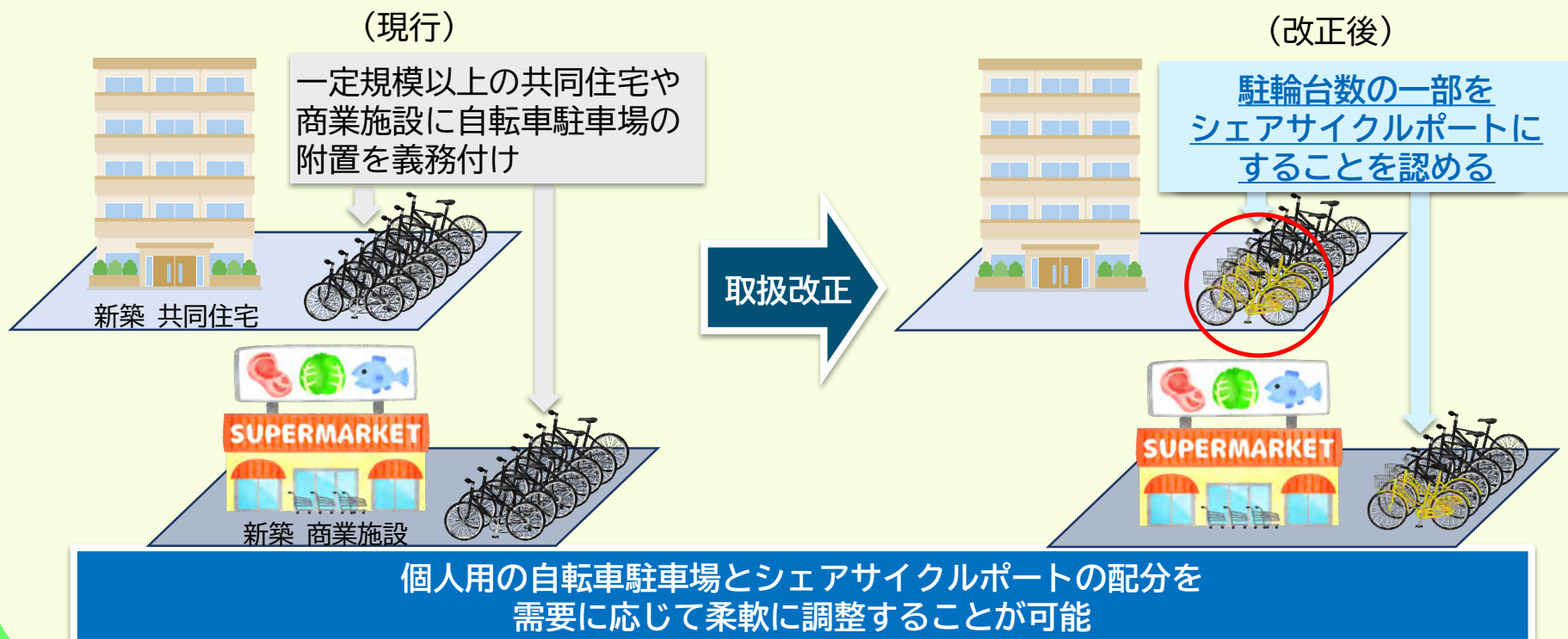


公開先二次元バーコード

民有地サイクルポートの設置促進策

自転車駐車場の附置義務の取扱改正 (令和6年9月～)

自転車駐車場の附置義務による駐輪台数の一部をシェアサイクルにすることができるよう緩和することで、民有地におけるサイクルポートの設置促進を図ります。



横浜市シェアサイクル事業の将来像

横浜市シェアサイクル事業実施方針 の策定(令和6年9月～)

【2034（令和16）年の将来像】

いつでも、どこでも乗れる便利で手軽なシェアサイクルが
市内全域で面的に展開されており、
市民や来街者の多様な移動目的に活用され、
移動しやすく環境に優しい街「ヨコハマ」

便利

手軽

全域

多様

環境

【目標指標】

平均ポート密度約：4ポート/km²

普及率：3%

平均回転率：3回/日/ラック

シェアサイクルの今後の取組の方向性①

横浜市シェアサイクル事業(R7.4～)

事業区域：横浜市全域

事業目的：

市内全域の移動の利便性向上

都市の活性化

脱炭素社会の形成

交通安全の推進

事業期間：R7.4～R12.3末(5年間)

ただし協働事業の取組実績をもとに、横浜市自転車等
施策検討協議会の皆様の意見を踏まえ、最大で5年間
(R17.3末)まで延長できるものとします

事業手法：公募型プロポーザル方式で選定した事業者と
公民連携での協働事業により推進

協働事業者：株式会社ドコモ・バイクシェア及びOpenStreet株式会社の共同事業体
(幹事者：株式会社ドコモ・バイクシェア)

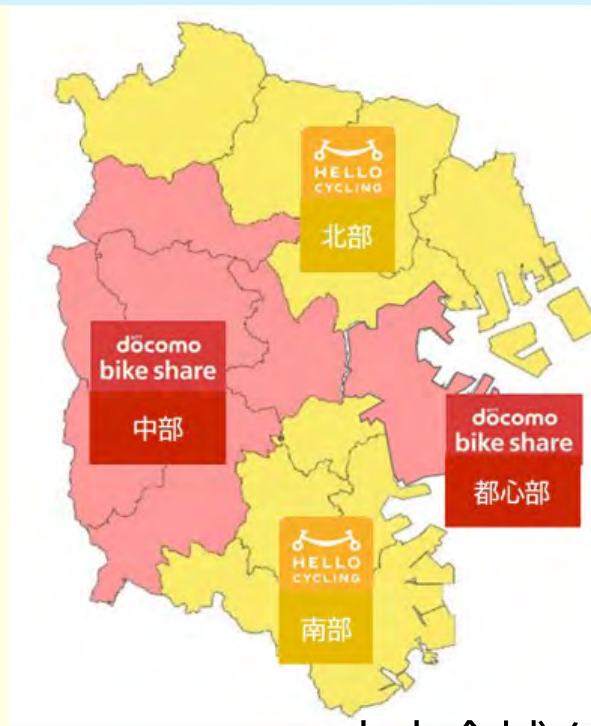


シェアサイクルの今後の取組の方向性②

横浜市シェアサイクル事業(R7.4~)

令和6年度まで

- ・都心部事業（横浜都心部）
- ・広域社会実験（北部、中部、南部）



令和7年度から
横浜市シェアサイクル事業
(市内全域)



市内全域を1つの事業区域とすることで
シームレスな移動サービスの提供を図ります。

シェアサイクルの今後の取組の方向性③

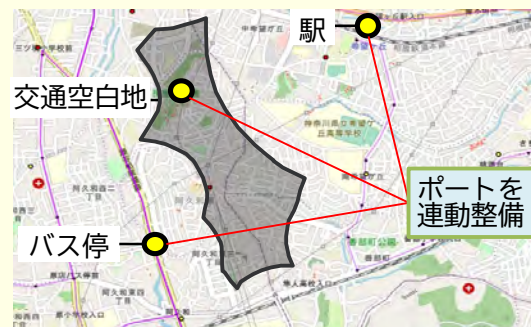
横浜市シェアサイクル事業(R7.4~)

共同ポート化による相互乗入



事業者間で駐輪情報を相互に共有し、異なる事業者の区画(ラック)でも返却可能(公有地ポートから共同化を推進)

交通結節点と交通空白地の連動



利用ニーズの高い交通結節点(駅・バス停)周辺と駅やバス停から一定距離離れている地域(交通空白地)とのポートの連動整備

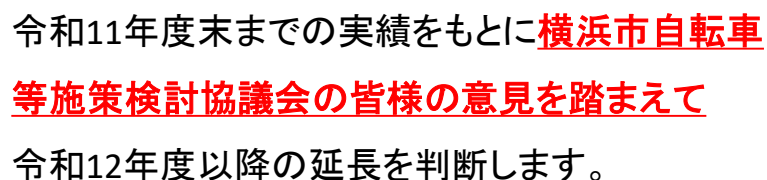
再生可能エネルギーを積極活用



二俣川のメンテナンス拠点における作業やバッテリー充電等にかかる電力を実質再生可能エネルギー100%とすることを提案

市内全域での移動の利便性向上と脱炭素社会の形成等の
本市が掲げる事業目的の達成に大きく寄与すると評価

今後の事業の進め方



指標の達成状況について

自転車活用推進計画の指標						実現に関連するテーマ			
指標名	計画策定時点	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (目標値)	まもる	はしる	とめる	いかす
自転車関係交通事故件数	2,093件 (2017年実績)	1,734件 (2022年実績)	1,760件 (2023年実績)	1536件 (2024年実績)	1,600件以下	○	○		
自転車通行ルールの認知度(遵守度)	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果等により指標を設定	知っている 85.8% (行っている 73.2%)	知っている 91.1% (行っている 74.5%)	知っている 92.6% (行っている 74.9%)	知っている 90% (行っている 80.0%)	○			
自転車保険の加入率	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果により指標を設定	77.7%	78.5%	83.9%	85%	○			
自転車通行空間の整備延長	33km (累計・2017年度末実績)	89km (累計)	95km (累計)	98km (累計)	103km (累計)		○		

計画推進の指標達成状況について

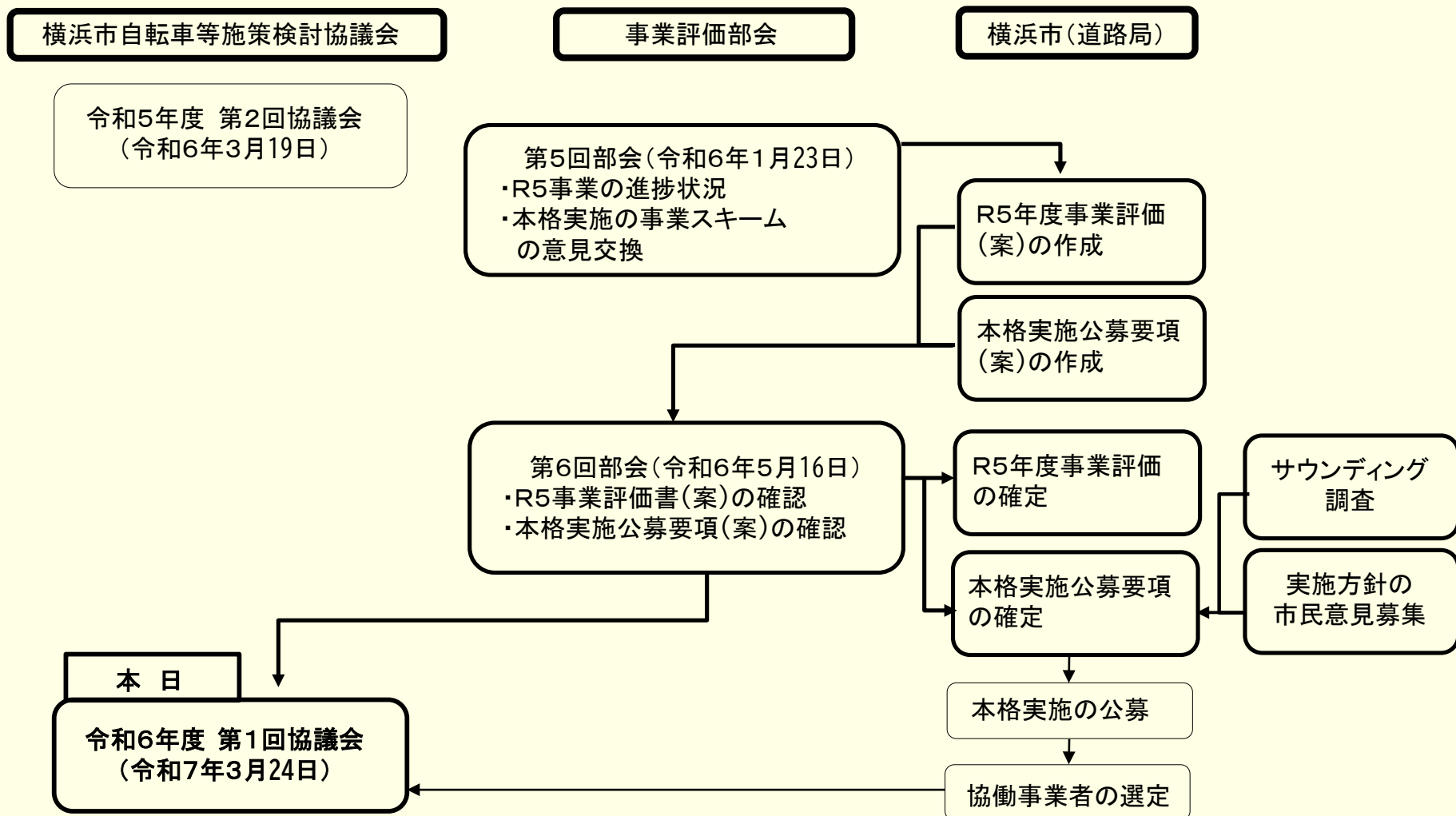
53

自転車活用推進計画の指標						実現に関連するテーマ			
指標名	計画策定時点	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (目標値)	まもる	はしる	とめる	いかす
放置自転車台数	8,297台	5,101台	4,328台	4,648台	4,000台未満			○	
附置義務条例による 集客施設の駐輪場 収容台数の増加	—	5,977台 (累計)	6,723台 (累計)	7,712台(累計)	7,200台 (累計)			○	
自転車関連イベント (「いかす」施策)の 開催件数 (市が関係するもの)	—	2件(累計)	5件(累計)	8件(累計)	10件 (2022年度～ 2025年度累計)				○
自転車利用環境の 満足度 (※)	2019年度に実施の 市民向けアンケート調査 結果等により指標を設定	23.1% (まもる)	26.4% (まもる)	9.9% (まもる)	23.1% (まもる)	○	○	○	○
		19.8% (はしる)	27.7% (はしる)	17.8% (はしる)	22.1% (はしる)				
		23.4% (とめる)	35.6% (とめる)	17.2% (とめる)	36.0% (とめる)				
		28.9% (いかす)	33.9% (いかす)	29.9% (いかす)	28.9% (いかす)				

※2024年度は、ヨコハマeアンケートによる集計結果

4

横浜市広域シェアサイクル
事業社会実験事業評価部会
の開催状況について



第6回部会の概要等

- ・開催日：令和6年5月16日(木)
- ・出席者：岡村部会長、小嶋委員、後藤委員、吉田委員
- ・議 題：R5広域シェアサイクル社会実験の事業評価について
事業実施方針、及び本格実施の公募について

第6回部会でいただいた主なご意見

- ・共同ポートの推進については利便性を向上させるであろう。
- ・サイクルポートの設置だけではなく、併せて利用促進も重要となる。
- ・住宅地にも広げていくことができれば、行政として取り組む意味が強くなる。

5

その他